

第3学年2組 国語科（書写）学習指導案

平成24年11月21日(水)第2校時

1 単元名 文字の中心に気をつけて書こう

2 単元の目標

- ・文字の中心について意欲的に調べようとしている。 (国語への関心・意欲・態度)
- ・文字の中心について理解することができる。 (言語についての知識・理解)
- ・文字の中心に気を付けて、毛筆で「火山」を書くことができる。 (言語についての技能)

3 単元について

本単元では、文字の中心に気を付けて書くことを学習する。「文字の中心」を整えて書くことは、文字の形を整え安定させるだけでなく、「行の中心」を整えて書くことにもつながる。縦画や点、画が接する所や横画の真ん中などを目安に、文字の中心を確かめ、理解して書くことをねらいとする。さらには第4学年で学習する「配列」へとつなげたい。

4 児童について

5 指導について

本年度の研究主題は、「未来につながる力をもつ子どもの育成」である。また、意欲づくり部会の研究テーマは、「学習意欲を高める指導の工夫」である。視覚的にとらえやすいよう、毎時間、フラッシュカード、学習指導書付属CD-ROMを用いて学習を行っている。

本時も導入ではフラッシュカードを使って、楽しく基本点画の習熟を図りたい。また、点画ピースを操作させ、文字の中心を確かめ、とらえやすくしたい。さらに、前時で書いた「火山」の中心が通っているか点検し、各自が文字の中心に気を付けて書くという目当てをもてるようにしたい。また、学習指導書付属CD-ROMやワークシートを用いることで文字の中心に気を付けて書くことや「火山」全体の筆使いや書き方の理解を図りたい。

T・Tの良さを生かし、机間指導によって、なるべく多くの児童に助言をしたり、筆を一緒に持って書いたりなど、きめ細かい指導を心がけたい。

6 指導計画（4時間配当）

文字の中心に気をつけて書こう 毛筆「火山」 (3時間 本時3/3)
文字の中心に気をつけて書こう 硬筆 (1時間)

7 本時の目標

- ・文字の中心に気を付けて、「火山」を書くことができる。

8 準備物

(児童) なるほど習字（文字の中心や筆づかいに気をつけてなぞりましょう）

(教師) 拡大手本、点画ピース、教科書付属CD-ROM、ワークシート、水書黒板

9 本時の学習過程

学 習 活 動	支 援 (・) と 評 価 (☆)	
	T 1	T 2
<p>○基本の点画を確かめる。</p> <p>○本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>文字の中心に気をつけて「火山」を書こう</p> </div> <p>○規準を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「火」の3画目の左はらいと4画目の右はらいの接する所、「山」の1画目の縦画の所に中心が通る。 <p>○前時に書いた「火山」を文字の中心の基準に照らして点検する。</p> <p>○CD-ROMを見て、全体の筆づかいの流れを確かめる。</p> <p>○練習をする。</p> <p>○まとめ書きをする。</p> <p>○次時の課題を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フラッシュカードで基本の点画をおさえる。 ・代表に点画ピースを操作させ、文字の中心を理解させる。 ・「火」の3、4画目の接する所と「山」の1画目に赤ペンで印をつけ、中心が通っているか確かめさせる。 ☆「火山」の中心について理解することができたか。(前時の作品・・・知識・理解) ・トン、スーなど声を出しながら空書きをすることでそれぞれの点画を書くリズムを感じさせる。 ・「なるほど習字」やワークシートを使って書かせる。 ・机間指導で、書き方の助言などをする。 ・半紙を中心に折って文字の中心に気を付けて書かせる。 ☆文字の中心に気を付けて、「火山」を書くことができたか。(本時の作品・・・技能) ・次時は、文字の中心に気を付けて「火山」「集合」などを硬筆で書くことを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・CD-ROMを操作する。

10 授業の観点

- ・フラッシュカード，点画ピース，教科書付属CD-ROMやワークシートなどを用いて学習したことは，学習意欲を高め，文字の中心に気を付けて書くことに効果的であったか。